

4. 災害に 備えて

(1) 火事 (火災)

【火を 消す 3つの 基本】

① 早く 知らせます

大きな 声で「火事だ!」と 叫びます。周りの人に 知らせて、助けを 呼びます。
小さい 火でも 119番に 電話します。

② 早く 火を 消します

自分で 火を 消すことができるのは、2分 以内です。

消火器や 水で 火を 消します。

水で 濡らした シーツや 毛布を 火に かぶせて 火を 消すことも あります。

③ 早く 逃げます

天井の 高さまで 火が 大きくなったら、すぐに 逃げます。

【火の 消し 方】

○油が 入っている 鍋に 水は かけません、危ないです。

水で 濡らした 大きい タオル、フキンを 鍋に かぶせます。

○カーテンは、はずして (引き ちぎって) ください。

カーテンに 火が 燃えないように します。



※消火器が ないとき

○近くにある 鍋の 汁 (油 以外)、やかん (ケトル) や 花瓶の 水を かけます。

○毛布、座布団を 火に かぶせます。空気が 入らないようにして、水を かけます。

しょうかき つか かた ※消火器の 使い方



※火が 自分の 背の 高さ(身長)まで 大きくなったら 逃げて ください。

【逃げる ときに すること】

- 大きな 声で「火事だ!」と 叫びます。周りに 知らせます。
- 煙を 吸わないように、ハンカチや タオルで 口や 鼻を 隠します。
できるだけ からだを 低くして 逃げます。
- 逃げていない 人が いるときは、周りに 知らせます。

(2) 風 水害

◆ 台風

台風は、夏から 秋に 多いです。とても 強い 風が 吹いて、たくさんの 雨が 降ります。海では 波が とても 高くなります。

台風が 来たときは、テレビや ラジオで 台風の 情報を 知ってください。

台風が 近づいているときに 家(建物)の 外に出るのは 危ないです。

【家の 外にある物に 注意 します】

○植木 鉢、物干し 竿などは、風で 飛ばされないように 紐で 縛るか、家の 中に入れます。

○窓や 雨戸が 風で 壊れたり、外れたり しないように します。

○テレビの アンテナ、庭の木、塀が 倒れないように します。

【家の 中で すること】

○懐中 電灯(灯り)や 携帯 ラジオを 準備 します。

○水道が 止まった ときの ために 水を 準備 します。

○用事がないときは 外へ 出ないで ください。

【たくさん雨が降ったときの注意】

○たくさん雨が降ると川から水があふれたりします。

川や用水路には近づかないでください、危ないです。

○山の地面が崩れたりします、危ないです。

○6月から7月に台風が来ると、たくさん雨が降ります。注意しましょう。

【警報と注意報】

たくさん雨や強い風で災害が起きるかもしれないときは、テレビやラジオなどで注意報を出します。

とても大きな災害が起きそうなときは、警報を出します。

※新発田市は、「新発田市」または「新発田地域」と表します。

種類	状況	予想の災害
おおあめ けいほう 大雨 警報	たくさん雨が降って、とても大きな災害が起きそうなときに 出ます	やま 山、がけが 崩れます
こうずい けいほう 洪水 警報	雨が降って、川の 水が増えて、とても大きな災害が起きそうなときに 出ます	かわ みず 川の 水が 溢れます ていぼう 堤防が 壊れます
とくべつ けいほう 特別 警報	強い雨や、大きな地震などで、住んでいる場所が とても危ないです。すぐに「命を守る 行動」をしてください	やま 山、がけが 崩れます かわ みず 川の 水が 溢れます ていぼう 堤防が 壊れます。津波が きます

※「命を守る 行動」…安全な場所に逃げます。今、周りがどのようになっているのかを 知ります。テレビ・ラジオ・SNSなどを使います。

◆避難の呼びかけをします

災害が起きたとき、災害が起きそうなときは、市から「避難準備」、「避難勧告」、「避難指示」があります。市の車、市の消防団の車、自治会長などが、それぞれの家に情報を伝えます。

ホームページ（日本語）やラジオのエフエム新発田（76.9MHz）でも知らせます。

① 避難準備

逃げる準備を始^{はじ}めます。

体^{からだ}の不自^{ふじゆう}由^{ひと}な人^{ひと}、お年^{としよ}寄り^こりや子^こどもは、早^{はや}めに逃^にげま^しょう。

② 避難勧告

決^きめられた避難^{ひなんじよ}所に逃^にげま^しょう。

③ 避難指示

決^きめられた避難^{ひなんじよ}所にすぐに逃^にげま^しょう。

(3) 地震

日本^{にほん}は地震^{じしん}が多^{おほ}いです。地震^{じしん}は、地面^{じめん}が大^{おほ}きく揺^ゆれます。大^{おほ}きな地震^{じしん}が起^おきると、家^{いえ}が壊^{こわ}れたり、ビ^びルが倒^{たお}れたりし^ます。火^か事^じが起^おきたりし^ます。地震^{じしん}の被^ひ害^{がい}を小^{ちい}さくするた^ために、普^ふ段^{だん}から準^{じゆん}備^びを^してお^きま^しょう。

◆地震^{じしん}が起^おきたら

【家^{いえ}（建^たてもの）の中^{なか}に起^おきたら地震^{じしん}が起^おきたら】



・自^じ分^{ぶん}の体^{からだ}を^{まも}りま^す
（机^{つくえ}やテ^てーブル^{ぶる}の^{した}に^{はい}入^いる。座^ざ布^ふ団^{だん}な^どで
あ^あたま^まを^{まも}りま^す）



・火^ひを^だし^ませ^ん
（動^{うご}ければ、ガ^がス^す器^き具^ぐやス^すト^とー^ぶの^ひ火^けを^けし^ます。
電^{でん}気^き器^き具^ぐの^こん^せん^とを^ぬきま^す）



・外^{そと}へ^で出^でるた^ための^どア^あや^{まど}窓^あを^あけま^す



・あ^{そと}わ^でて^で外^{そと}へ^で出^でま^せん
（ガ^がラ^らス^す、カ^かワ^わラ^ら、カ^かン^かン^かボ^ぼン^んが^おお^ちて^くるこ^とが^あり^ます。
あ^あぶ^あない^です）

○スリッパや靴を履きます。

ガラスが割れてガラスが床に落ちていることがあります。危ないです。

○ラジオ、テレビなどで正しい情報を知ります。市の災害情報も確認します。

○避難指示があったらすぐに逃げます。

避難指示がなくても、危ないと思ったときは、逃げます。

周りを注意しながら落ち着いて逃げます。

【家（建物）の外にいたとき地震が起きたら】

窓のガラスや看板が落ちてくることがあります。危ないのでビルなどの建物から離れます。頭の上を注意して、近くの公園や広い場所に逃げます。

【車を運転しているとき地震が起きたら】

急に止まりません。車を道路の左側に止めます。車のエンジンを止めます。

車から離れるときはドアに鍵はしません。鍵は付けておきます。

車検証や大切な物は持って出ます。

【エレベーターに乗っていたとき地震が起きたら】

各階のボタンを全部押します。停まった階でエレベーターを降ります。

エレベーターが動かなくなったら、非常ボタンを押して、助けを呼びます。

インターフォン・非常ボタンが通じない場合は、携帯電話で管理センターまたは

消防（119番）・警察（110番）に電話します。

【海、川の近くにいたとき地震が起きたら】

津波が来るかもしれません。すぐに高いところへ逃げます。

【山にいたとき地震が起きたら】

山の地面やがけが崩れるかもしれません。できるだけ早く逃げます。

緊急地震速報

「緊急地震速報」は、揺れる前にテレビ、ラジオで知らせます。

地震で揺れる場所と揺れる大きさを知らせます。

(地震が起きたところに近い場所は、「緊急地震速報」が出ないことがあります)

(4) 土砂災害

たくさんの雨や地震で、山の地面やがけが崩れたりします。

土や石が水と一しょに川を流れて、家や道路などを壊します。

人の命の危険があります、注意してください。

土砂災害の多くは雨です。長い時間雨が降ったり、一度にたくさんの雨が降って

危ないと思ったら、早めに逃げます。

(5) 津波

津波は、海の底で起きる大きな地震で起きます。津波はとても早いスピードで

陸に來ます。海の近くで地震があったら高いところへ逃げます。

(6) 防災について知っておくこと

① 普段の準備と、逃げるとき

○避難所までの逃げる道を決めておきます。

○テレビ、ラジオで一番新しい「気象情報」、「災害情報」、「避難情報」を確認します。自分で危ないと思ったら逃げます。

○火事にならないように電気のブレーカーを落とします(OFFにします)。ガスの元栓を閉めます。電気のブレーカーやガスの元栓の場所を知っておきましょう。

○車で逃げるのは危ないです

車は水に浸かると動かなくなります。動かなくなった車は、川の水に流されて、家を壊します。道路をふさいで、邪魔になります。

車で逃げるのはやめましょう。

○靴を履いて、安全を確認しながら逃げます

水があふれて道や用水路、川の区別がつかなくなったりします。マンホールのふたが開いている場所はとても危ないです。傘や長い棒で足元を確認しながら歩きます。

○逃げられなかったとき

近くの丈夫な建物の3階以上に逃げます。家の2階でも場所によっては危険です。

②避難所ですること

○避難所では、とても多くの人がいっしょに生活をします。

避難所での生活が長くなる時もあります。係の人の言うことを聞き、ルールを守りましょう。他の人と仲良く生活しましょう。

○避難所では食べ物やふとんなどがあります。

○災害についての情報を知らせます。

○避難所から出かけるときは、係の人に必ず行く場所や用事を言って、出かけましょう。

④「非常持ち出し品」の準備をします

災害のときに持ち出す荷物です。

荷物は一つにして、すぐに持ち出せる場所に置きます。

○家族の歳や人数を考えて準備します。


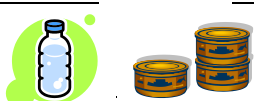
あかちゃん、子どもやお年寄りのために必要なものがあれば準備します。

○「非常持ち出し品」は使える期間をときどき見ます。

古いものは新しいものにします。


【一次持ち出し品（例）】

逃げるときに、一番初めに持っていきます。バックパックなどの簡単に持って運べるものに入れておきます。

<p>貴重品</p>	<p>現金、通帳、印鑑、パスポート、外国人登録証、免許証、健康保険証（またはコピー）</p>
<p>衣類</p>	<p>下着類、靴下、セーター、ジャンパー</p> 
<p>飲み物</p>	<p>ペットボトルに入っているもの</p> 
<p>非常食</p>	<p>カンパン、缶詰、カップめん、缶に入っている食べ物</p>
<p>その他</p>	<p>懐中電灯、ラジオ、乾電池、缶切り、マッチ、ナイフ、ローソク、ライター、ロープ、ビニール袋、タオル、軍手、レジャーシート、ヘルメット、生理用品、歯ブラシ、歯磨き粉、化粧品、傷薬、胃腸薬、包帯、絆創膏、いつも飲んでいる薬、お薬手帳、簡易トイレ、食品用ラップフィルム、病院の薬を飲んでいる人は、薬の処方箋のコピー</p>
<p>家族の年齢、人数に合わせた準備</p>	<p>粉ミルク、ほ乳びん、離乳食、紙おむつ メガネ、入れ歯、補聴器、大人用おむつ</p>

【二次 持ち出し 品 (例)】

避難したあと、少し余裕ができて、安全を確認してから家に戻ったときに持ち出すもの。または、家で3日間は生活できるように準備しておきます。ダンボールに入れておきます。

ねん しょう 燃 料	かせつと コンロ、かせつと ガス ボンベ	
た べ 物 など	こめ や 簡単に 食べられる 物 わりばし、フォーク、スプーンなど	
の み ず 飲 水	ひとり 一日 3リットルの 水が 必要です ポリ タンク (水用) などに 入れて おきます	

⑤ 地震に 備えて おきます

家具が 倒れたり、上から 物が 落ちてきて けがをする 人が 多いです。

○家具は 倒れないように 置きます

タンスや 食器 棚など 背の 高い 家具は 天井との 間に 動かない ようにする 棒を 付けます。倒れない ようにする マットの 上に 家具を 置きます。

テレビや パソコンなども 落ちないように します。

○ガラスに フィルムを 貼ります

窓の ガラスや 食器 棚の ガラスは、壊れると 危ないです。ホームセンターなどで 売っている フィルムを 貼って おくと 飛び 散るのを 防ぐ ことができます。

○ストーブに 注意します

ストーブは 揺れると 自動で 火が 消える ものに します。

ストーブ を使う ときは 燃えやすい ものを 近くに 置けません。

⑥ 災害用 伝言 ダイヤル

災害が起きた場所の電話がつながりにくいときに使います。

無事かどうかを確認する伝言などを録音したり、聞いたりできます。

使えるときは、テレビ、ラジオ、インターネットなどで知らせます。

【録音するとき】

○ 「1・7・1」を押します（日本語の案内が聞こえます）。

○ 「1」を押します（日本語の案内が聞こえます）。

○ 自分の電話番号を市外局番から番号を押します。

携帯電話の番号も使えます。

【聞くとき】

○ 「1・7・1」を押します（日本語の案内が聞こえます）。

○ 「2」を押します（日本語の案内が聞こえます）。

○ 相手の電話番号を市外局番から番号を押します。

携帯電話の番号も使えます。

※1 録音された伝言は災害に遭った人の電話番号を知っている人全員が聞けます。

※2 暗証番号（自由に決める4つの数字）で、他の人に聞かれない伝言や決まった人の間で、伝言を録音したり、聞いたりできます。

(7) ひなんじよ なまえ ばしよ
 避難所の 名前と 場所

ひなんじよ 避難所	じゅうしよ 住所	※
しばたし せいしやうねん しゆくはく しせつ いえ 新発田市 青少年 宿泊 施設 あかたにの家	かみあかたに 上赤谷2173	
あらばし しやうがっこう 荒橋 小学校	あらまち 荒町1482	
ひがし しやうがっこう 東 小学校	いじみの 五十公野4862	
おおしま たいいくかん 大島 体育館	おおなかじま 大中島37	
かじかわ しやうがっこう 加治川 小学校	かみいまいずみ 上今泉366-1	
かじかわ ちく こうみんかん 加治川 地区 公民館	すみだ 住田547-1	▲
かじかわ ちく こうみんかん 加治川 地区 公民館 中川分館	おしまわし 押廻1447	
かじかわ ちく たいいくかん 加治川 地区 体育館	すみだ 住田547	
かじかわ ちゅうがっこう 加治川 中学校	かわぐち 川口330	
かるちゃーせんたー カルチャーセンター	ほんちやう 本町4-16-83	
かわひがし しやうがっこう 川東 小学校	しもはねづ 下羽津1938	
かわひがし ちゅうがっこう 川東 中学校	しもはねづ 下羽津1566-1	
ごめんまち しやうがっこう 御免町 小学校	たいえいちやう 大栄町4-5-33	
ささき しやうがっこう 佐々木 小学校	のりきよ 則清856	▲
ささき ちゅうがっこう 佐々木 中学校	のりきよ 則清102	▲
さるはし しやうがっこう 猿橋 小学校	なかそねちやう 中曽根町3-8-29	▲
さるはし ちゅうがっこう 猿橋 中学校	すみよしちやう 住吉町1-7-1	
ひがし ちゅうがっこう 東 中学校	いじみの 五十公野4862	
しやうんじ しやうがっこう 紫雲寺 小学校	いなりおか 稲荷岡2389	
しやうんじ ちゅうがっこう 紫雲寺 中学校	まのほらそと 真野原外3499	
だいいち ちゅうがっこう 第一 中学校	みゆきちやう 御幸町4-5-25	
すがたに しやうがっこう 菅谷 小学校	しげやま 繁山70	
すみよし しやうがっこう 住吉 小学校	すみよしちやう 住吉町3-6-22	
けんこう ちやうじゆ あくていぶ こうりゆう せんたー 健康 長寿 アクティブ 交流 センター	ちゅうおうちやう 中央町3-13-3	△
てんのう しやうがっこう 天王 小学校	てんのうこ 天王甲18	
とうほう しやうがっこう 東豊 小学校	とうしんちやう 東新町4-10-8	
とがわ しやうがっこう 外ヶ輪 小学校	ちゅうおうちやう 中央町5-8-9	▲
とよら ちゅうがっこう 豊浦 中学校	おとし 乙次50	
ながうら しやうがっこう 中浦 小学校	だいでん 大伝465-2	
ななは しやうがっこう 七葉 小学校	くろいわ 黒岩66	
ななは ちゅうがっこう 七葉 中学校	かみたて 上館84-2	

ひなんじよ なまえ ばしよ
避難所の 名前と 場所

ひなんじよ 避難所	じゅうしよ 住所	※
ふじつか しょうがっこう 藤塚 小学校	ふじつかはま 藤塚浜4063-3	
ふたば しょうがっこう 二葉 小学校	なかつちよう 中田町3-6-1	▲
ほんだ しょうがっこう 本田 小学校	ほんだへい 本田丙12	
ほんまる ちゅうがっこう 本丸 中学校	みどりちよう 緑町2-7-22	▲
きゅうまつうら しょうがっこう 旧 松浦 小学校	ほうじようばし 法正橋39	
きゅうよねくら しょうがっこう 旧 米倉 小学校	おおつき 大槻4211-260	▲
きゅうくるまの しょうがっこう 旧 車野 小学校	おおとも 大友17-1	
よねこ しょうがっこう 米子 小学校	まのほらそと 真野原外1773	
かじかわ コミュニティ センター 加治川 コミュニティ センター	しもこなやま 下小中山1107	
しばた こうとう がっこう 新発田 高等 学校	ゆたかちよう 豊町3-1-2	△
しばた しょうぎよう こうとう がっこう 新発田 商業 高等 学校	いたじき 板敷521-1	
しばた ちゅうおう こうとう がっこう 新発田 中央 高等 学校	そね 曾根570	▲
しばた のうぎよう こうとう がっこう 新発田 農業 高等 学校	だいえいちよう 大栄町3-6-6	
にし しばた こうとう がっこう 西 新発田 高等 学校	にしぞのちよう 西園町3-1-2	
しばた みなみ こうとう がっこう 新発田 南 高等 学校	だいえいちよう 大栄町3-6-6	
しばた たけまた とくべつ しえん がっこう 新発田 竹俣 特別 支援 学校	しもおけがわ 下桶川702	
にいがた しょくぎよう のうりよく かいはつ たんき だいがっこう 新潟 職業 能力 開発 短期 大 学校	しんとみちよう 新富町1-7-21	▲
しみん ぶんか かいかん 市民 文化 会館	ちゅうおうちよう 中央町4-11-7	▲
なかい ほけん センター 中井 保健 センター	こぶちちよう 小舟町2-3-31	▲

※1. ▲…大雨で川の 水が 堤防の 高さを 越えたり、堤防が 壊れたり したとき 一部 使えない 場合がある 建物

※2. △…大雨で 下水道、側溝、排水路の 水が あふれたり したとき 一部 使えない 場合がある 建物

